

12/13 エリアリーダーモデル授業公開 in 大町ひじり学園

小学校第3学年 理科 青木翔史 先生

単元名 「電気の通り道」 (大日本図書)



## ICT活用のポイント

- ・ 端末を1人1台ではなくグループ1台で活用する。
- ・ SKYMENUの「発表ノート」を使い、電気を通すものと通さないものについて実験した結果が分かるよう写真に撮影する。
- ・ 撮影した画像を、電気を通すものと通さないものに分類し、実験結果を視覚的に捉えることができるようにする。
- ・ 提出した発表ノートを電子黒板に写しながら発表することで、各グループの実験結果を全体で共有する

## 学習の流れ 9時間 (本時5 / 9)

### 導入

#### ①前時の学習を振り返る。

・ 前時に児童が提出した発表ノートを電子黒板で紹介する。

#### ②問題を見つける。

・ 銅線のビニールを剥いていない状態で豆電球とつないだ画像を電子黒板で提示する。

活用ポイント

【電子黒板・SKYMENU】

### 展開

#### ③問題について予想する。

・ 実物を見せながら、それぞれ電気を通すか通さないかを予想させる。

#### ④実験方法を考える。

・ 考えが出にくい場合には、実験器具を提示しながら、実験方法のヒントを与える。

#### ⑤問題について実験を行い、得られた結果を記録する。

活用ポイント

【カメラ機能】

#### ⑥記録した結果をグループごとに発表し、全体で共有する。

活用ポイント

【電子黒板・SKYMENU】

### まとめ

#### ⑦次時の見通しをもつ。

・ 得られた実験結果をもとに、電気を通すものはどんなものと言えるのかを考察していくことを伝える。

## 小学校第3学年 理科 単元名 「電気の通り道」 (大日本図書)

①前時の学習を振り返る

【電子黒板・SKYMENU】

②問題を見つける



教職員と児童がやりとりする場面



教職員と児童がやりとりする場面

⑥結果を全体で共有する。

【電子黒板・SKYMENU】

⑤実験を行い、得られた結果を記録する。

【カメラ機能】

各グループで、写真を撮影し、発表ノートに「電気を通すもの」「電気を通さないもの」を分類していく。



教職員と児童がやりとりする場面



児童同士がやりとりする場面

## &lt;授業を参観された先生方の声&gt;

- ・ 丁寧な発問から実験、結果まで子供達が意欲的に工夫しながら、よく考えて学習している様子が印象的でした。ICTを効果的に利用し、より深まる授業づくりをしていきたい。
- ・ 子供達は、教員が思っている以上に使いこなせるのではないかと思います。まずは、教員が積極的に使っていく必要がある。
- ・ 端末をグループで一台使った方がコミュニケーションが生まれることに気がきました。
- ・ どんな場面でどのように活用するのかを的確に実践されており、ICT活用の可能性を感じました。ただ使うだけではなく、これからは、児童の学びをより深めるためにどう使うべきかを考えていく必要があると思います。使ってみる→効果的な活用へと転換し、児童のより深い学びを実現させていきたいと思いました。
- ・ |人|台端末の活用の可能性は無限にあると感じた。
- ・ 市町によって環境が違うことが改めてわかった。違うからこそ擦り合わせるところに会話の意味がある気がしてよかったと思う。個別最適化を目指すなかで、一斉公開授業が『みんなで』がよくみられる。そうではなく、個別に課題を見つけ取り組むような公開授業が見たいとの意見が協議で出ました。
- ・ どの学校も積極的にICTを教育に取り入れていることを実感しました。情報化推進リーダーとして校内での推進をより一層進めていきたいと思っています。

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。  
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

